

見本

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

学習のてびき
 本当のことを言えない春吉君の気持ちを読み取りましよう。

① いつもと同じ騒ぎが始まった。屁えきこき虫の石太郎が屁を放ったときと、寸分違わぬことが。春吉君はどうしていいのかわからない。もう成り行きにまかすばかりだ。

やがて古手屋の遠助が、今日は大根菜屁だといった。なんと鋭敏な嗅覚だろう。確かに春吉君は、今朝大根菜のはいった味噌汁で食べて来たのである。

やがて騒ぎが大きくなり出した頃、藤井先生が例によって、誰だつと怒鳴られた。春吉君は意味もなく粘土をひねりながら、息を呑んで面を伏せた。みんなの視線が、ちょうどいつも石太郎の上に蝸集するように、今日は自分に注がれているのだと思いつつ。今にどこからか、春吉君だという声が起こってくるに相違ないと思つた。そういう風にすっかり観念していたので、

石だ、石だ、という誤つた声があがった時には、自分の頭上に落ちてくるはずの拳骨が、わきへ外れたように、ほっとした奇妙な感じになつた。

顔をあげて見ると、意外にもみんなの視線は、春吉君に集中されておらず、やはり石太郎の方に向いているのだつた。

藤井先生が、黒板の裏にかかっている鞭をとって、

20

5

15

10

問一 線 「いつもと同じ騒ぎが始まった」とあります。

りますが、この場合、だれが、どんなことをした

つかつかと石太郎の前へ歩いてゆかれる。春吉君の心の底から、正義感がむくつと起きて来た。自分だと言つてしまおうか、しかし誰一人自分を疑つてはいないのである。ここで白状するのは何とも恥ずかしい。先生が石太郎の席に達するまでの短い時間を、春吉君の中で正義感と羞恥心がめまぐるしい闘争をした。それが春吉君の動悸を、鼓膜にどきどきと響くほどはげしくした。そしてしばらく正義感が抑えられた。

反射的に粘土を、親指と人差し指の腹ですりつぶしながら、春吉君は見ていた。石太郎はいつもと変わらず、照れた顔を机に近く揺っている。今に、俺じやないと弁解するかと、春吉君がひそかに恐れながらも期待していたのに、その期待も裏切られた。石太郎は鞭でこめかみをぐいと押され左へぐにやりとよるけたが、依然照れた様な表情で沈黙しているばかりである。

春吉君が余儀なく、自分の罪を白状させられる機会はないに來なかつた。これで騒ぎは済んでしまつた。一同は再び作業に取りかかつた。 (新美南吉「屁」)

- 注1 鋭敏な「するどい。
- 注2 蝸集「あつまること。
- 注3 観念「あきらめること。かくごすること。
- 注4 羞恥心「恥ずかしいと思つ気持ち。
- 注5 余儀なく「やむをえず。

30

35

シヨートテスト

1 線部の読みをひらがなで書きなさい。

(各10点)

すばらしい景色。

□

労働者の権利。

□

堂々たる態度。

□

道の右側を歩く。

□

機械を動かす。

□

見本

ので、騒ぎが始まったのですか。適当てきとうなものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 石太郎が授業中じゅぎょうちゆうにおならをした。
- イ 友だちが授業中におならをした。
- ウ 春吉君が授業中におならをした。
- エ 藤井先生が怒鳴いかった。

問一 — 線 「誰だっ」とありますが、先生はどんなことをたずねているのですか。適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 騒いでいるのは誰かということ
- イ おならをしたのは誰かということ
- ウ 笑っているのは誰かということ
- エ 面を伏せているのは誰かということ

問三 — 線 「石だ、石だ、という誤った声があった時」、春吉君は、どんな気持ちでしたか。文中から十字で書きぬきなさい。

問四 — 線 「正義感と羞恥心とがめぐるしい闘争をした」とは、どういうことですか。

問五 — 線 「恐れながらも期待していた」春吉君の気持ちを説明したものととして、適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 先生に鞭で打たれるのは恐ろしいけれど、正しい人間でありたいと思った。
- イ みんなの前ではじをかくのはいやだけれど、白状するのはいやなので、石太郎にだまっていってほしいと思った。
- エ 白状させられるのは恐ろしいけれど、先生のやさしさを信じたいと思った。

問六 — 線 「騒ぎは済んでしまった」けれど、春吉君は、どんな気持ちでいると考えられますか。適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 白状しなかったことを後かいている。
- イ ばれなかったので安心してている。
- ウ 代わりにしかられた石太郎を軽べつしている。
- エ みんなに疑われて恥ずかしいと思っている。

② — 線部のかたかなを漢字で書きなさい。(各10点)

ジドウ文学。

コナグスリを飲む。

力を力りる。

国語ジテンを引く。

サンマをやく。

点